



ミカン主幹形仕立ての新技术セミナー実施状況

成果情報

- ・主幹形仕立て温州ミカン機械化
- ・ニホンナシ「凜夏」
- ・レモンの長期貯蔵
- ・ブドウのアザミウマ類薬剤抵抗性

コラム

- ・レモン祭りと「レモンアーチ仕立て」で新年の夢を描きませんか？

品種紹介

- ・『熊本中長なす』

成果情報 主幹形仕立ての温州ミカンで機械化を実証

大崎上島町の農事組合法人「シトラスかみじま」で「ミカン主幹形仕立てによる省力・軽労型生産技術の現地実証」試験を実施しています。実証園では急傾斜という条件のもとで 1ha の規模で機械化を検討しています。狭い通路でも走行できるクローラ型防除機により、農薬散布の省力化を実現しました（図 1）。防除機はタンクを取り外すと運搬車としても利用できます。

また、テラス間移動が容易なスロープ（近中四農研センター開発）を設置し、更なる省力化が可能となりました（図 2）。

今後はマルチ点滴かん水及び施肥回数削減による省力効果も併せて評価を行います。

本試験は農林水産省「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」で実施しています



図 1 クローラ型防除機



図 2 テラス間移動スロープ

（果樹研究部）

成果情報 大果な早生の新品種ニホンナシ「凜夏（りんか）」

ニホンナシ新品種「凜夏」は、農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成された、赤ナシ品種です（図1）。交配組み合わせは、「豊水」×「おさ二十世紀」×「あきあかり」です。

本県における主要な早生品種「幸水」を対照として比較しました。

開花期は4月上旬でやや早く、収穫期は8月中旬であり、同時期です（表1）。

果実特性は、果実重が500g程度であり大果です。また、糖度は同程度で、果汁のpHはやや低く、やや酸味があり、果肉は軟らかく良食味です（表1）。

本品種は平成25年11月に品種登録出願公表されました。



図1 ナシ「凜夏」の収穫前の状況

表1 「凜夏」の開花・収穫始期と果実特性（2013）

品種名	開花始期 (月/日)	収穫始期 (月/日)	果実特性			
			果実重 (g)	糖度 (° Brix)	果汁pH (pH)	硬度 (lbs)
凜夏	4/7	8/14	523	12.0	4.6	3.6
幸水	4/12	8/16	338	12.6	5.2	5.1

試験場所：東広島市安芸津町(高接ぎ4年目)

(果樹研究部)

成果情報 レモンの長期貯蔵における腐敗果率は個包装で低い

現行のレモン貯蔵方法は、一個一個果実を包装するか（個包装）、無包装で行われています。それぞれの課題は、個包装では包装コストが高く、また無包装では長期間の貯蔵によって共腐れ（接触による腐敗の拡大）が発生することで（図1）。

そこで、包装コストの低減を目指し、1つの袋に入れる果実数を1, 3, 5個とし、腐敗果率に及ぼす影響を調査しました。

その結果、腐敗果率は、個包装区で最も少なく、共腐れによる腐敗果率は、5個入区で高い傾向でした（図2）。今後は、腐敗によるロスと包装コスト（資材費と労賃等）を併せた検討が必要と考えています。



図1 無包装で貯蔵中に発生した共腐れ

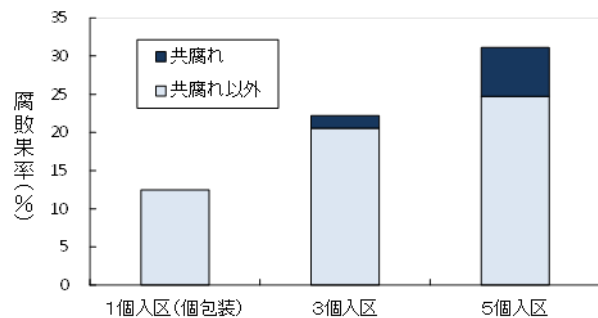


図2 包装個数の違いと腐敗果率（115日後）

(果樹研究部)

ジーンバンクで保存している特徴のある品種 (55)

熊本中長なす

果皮柔らかく豊産で種子量の少ない良食味品種

熊本中長なすは宮崎県の佐土原長なすから改良されたといわれていますが、何時どのような経路で熊本県に入ったかは明らかではありません。熊本県では大正14年頃から選抜を始め、昭和5～6年頃に熊本長なすとして固定して採種を始めています。しかし、戦中、戦後は統一した採種が行われず、農家の自家採種にまかされていたため、品種にばらつきが生じていました。



昭和20年代に入って農業試験場で再び熊本長なすの系統選抜が開始されましたが、丁度この時代に久留米にあった農林省九州農試園芸部で野菜の品種分類が行われ、本種も熊本長なすと熊本中長なすに分けられました。

農業ジーンバンクでは、平成8年に熊本市の種苗店から熊本中長なすとして入手したものを保存しています。特徴としては早生で多収、果皮、果肉共に柔らかく、種子量が少ないため、食味が良好です。欠点としては耐暑性が劣り、果皮が赤みを帯びて色落ちし易く、所謂ボケなすになり易いといわれています。従って、ハウス栽培では特にこまめな摘葉が大事になります。東広島市を中心とした県の中部地帯での露地栽培では2月下旬播き、4月下旬定植、6月下旬収穫となりますが、灌水に便利な転作田での栽培に適し、夏に乾燥する畠での栽培では盛夏期の切り戻しによる収穫中断が必要と考えられます。

一般財団法人 森林整備・農業振興財団 農業ジーンバンク技術嘱託員 船越建明

農業技術センター
ホームページをご覧ください。

広島県 農業技術センター

検索

農業技術センターホームページでは、センターニュースのバックナンバーをはじめ、センターに関する最新の情報を提供しています。ご活用ください。

なお、スマートホンにも対応しています。右の2次元バーコード（QRコード®）を読み取って、アクセスしてください。いつでもお気軽にご覧になれます。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/30/>



(問い合わせ先)

〒739-0151 東広島市八本松町原 6869
総務部 ☎082-429-0521
技術支援部 ☎082-429-0522
栽培技術研究部 ☎082-429-3066
生産環境研究部 ☎082-429-2590

〒739-2402 東広島市安芸津町三津 2835
果樹研究部 ☎0846-45-5471

農業技術センターNews No. 121
編集発行



農業技術センター
平成28年1月1日

お問合せ・ご意見は、技術支援部までお寄せください。
メールでもお待ちしております。

E-mail ngcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp